

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和4年度 富山高等学校アクションプラン -1-	
重点項目	学習活動
重点課題	生徒の家庭学習の充実と、教師の授業力向上
現 状	(1)本校では家庭学習時間を1日平均4時間以上(1週間で28時間以上)確保するよう指導している。学習の習慣化が定着している生徒が一定数いる一方、学習時間の確保に困難を感じる生徒や、時間の確保はできても学習効率に工夫が必要で、成績向上を実感できずにいる生徒もいる。 (2)生徒の主体性を引き出すため、本校の教師は「学び合い」や「ICTの活用」などの工夫を継続的に行ってきた。昨年度からは「振り返り」の機会も意識されるようになり、講義形式のみの授業からは脱却しつつあるが、「思考・判断・表現」に関する目標を達成するためには、55分授業の活用法を研究し、各自の取り組みを全体で共有することが望まれる。
達成目標	〔家庭学習の充実〕 ①1・2年生の学習時間について 「自ら計画した家庭学習時間が達成できた」生徒の割合が70%以上となること。 ②効率的な学習について 「計画的で効率的な学習」ができるようになり、「学習の総量が増えた」生徒の割合が80%以上となること。 ※①は1学期、2学期に、②は1月に実施する学習生活実態調査の結果から考察する。 〔授業力向上〕 ①生徒による授業評価について 「学び合い」や「振り返り」が行われ「主体的に参加した」と評価された授業の割合が、全体の80%以上となること。 ②教員間の互見授業と情報共有 互見授業の実施率が100%となること。確実な学力を身につけさせる方策や、55分授業の活用に関し情報共有できる機会を設定すること。 ※①は1学期末、2学期末に実施する「授業アンケート」から考察する。②は教員へのアンケートを実施し、全員にその結果と考察を配布する。
方 策	1. 面接指導の充実… 担任および教科担当者による面接等を通し、学習時間の確保に困難を感じている生徒や学習効率に工夫が必要な生徒に対し、丁寧で具体的な指導を行う。 2. 「学び合い」「振り返り」「ICTの活用」の充実… 各教科・科目において、授業一つ一つの達成目標を計画的に設定する。また、ICT利用の長所・短所を把握し効果的な利用法について研究を進める。 3. 進路指導部との連携… 学習係と担任・教科担当者との連携において、生徒が家庭学習に主体的に取り組める適正な課題の質および量を設定する。また、生徒個々の進路希望に対して、学習計画や学習方法が効率的かつ効果的であるかを判断し、適切に指導する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

令和4年度 富山高等学校アクションプラン-2-	
重点項目	学校生活
重点課題	基本的な生活習慣の改善
現 状	健康的な環境づくりに努める知識や能力の向上 新型コロナウイルス感染拡大防止は、引き続きの課題である。感染拡大防止対策の一環として換気が推奨されており、日々実践しているところではあるが、換気の状態を正確にとらえることは難しく、室内の二酸化炭素濃度を測定し換気の状態を認識し、十分に換気をすることが出来るようになることが重要である。また、食事の時の感染拡大が知られており、黙食の徹底、すみやかにマスクを着用することが重要である。
達成目標	環境整備委員、保健委員が中心となり、室内の二酸化炭素濃度を測定し、出来れば1000ppm、多くても1500ppmの濃度を下回るように、換気を徹底させる。黙食の徹底、速やかにマスクを着用することが出来るようになる。 ①スマートフォン、学習活動・生徒間連絡利用以外の使用時間短縮。 ②個人情報のSNSへの安易な書き込みの防止。 ③主体的に18才を成年年齢とする法律の要点を理解する態度の涵養。 ①学習活動や生徒間の連絡以外の目的でスマートフォン使用している時間が1日2時間以内である生徒割合が70%以上。 ②ネットパトロール等外部から指摘を受けるような他人の個人情報掲載、著作権違反、他への中傷記載などなくす。 ③18才を成年年齢とする法律を学ぼう(理解しよう)とした3年生の割合が80%以上。
方 策	1. スマートフォンは学習活動・生徒間連絡に不可欠なものとなりつつあるが、生徒に対して講演会を実施するほか、教員・保護者が連携して生徒の現状把握に努め、使用時間を控えさせる。 2. 個人情報の安易な開示・書き込みなどについての危険性について生徒の意識向上を図る。 3. 法律によって改められる権利と義務を、さまざまな機会を通じて啓蒙する。 二酸化炭素濃度測定器を教室に配置し、環境整備委員、保健委員を中心に教室内の二酸化炭素濃度を記録する。換気することで教室内の二酸化炭素濃度が低下することを実感し、換気の習慣を確立する。 二酸化炭素濃度と眠気の関係や作業効率への影響を知り、感染拡大防止とともに、より良い学習環境について学ぶ。黙食・速やかなマスク着用を心がけ感染拡大防止に努める。引き続き手指消毒・清掃時の消毒に努める。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)